



日本商工会議所 EC 実践研修の内容です。

ITの進展が、今までの社会・経済のしくみや個人および企業の活動形態を根本的に変えようとしています。2006年～2010年までは「u-Japan 政策」が実施され、ブロードバンドでつながるユビキタス社会が到来し、下記のようなサービスが24時間365日休みなく行われるため、情報モラルや情報セキュリティの知識がますます重要となっています。

- ◎電子申請・届出(電子自治体) ◎電子商取引(B2C、B2B、B2G)
- ◎電子入札・電子納品(CALS/EC) ◎電子納税(e-Tax)
- ◎電子保存(e-文書法) etc

さらに、これらのサービスには下記の知識が不可欠になります。

- ◎電子署名 ◎電子認証(PKI:公開鍵基盤)
- ◎情報セキュリティ ◎個人情報保護法やネット関連法規 etc

「ネット社会」では多くの取引がインターネットを通して行われるため、インターネットの利活用は企業競争力の強化や事業発展の重要なポイントになり、企業の大小にかかわらずこの状況に対応して行く必要があります。そして、これらのスキルを持つ人材の育成と確保は企業および自治体の緊急の課題となっています。

*** ネット社会で必要とされる人材育成セミナー(3時間)**

目的	ネットワーク社会における企業活動で必要不可欠となる、電子商取引、電子コミュニケーション、ネットワーク、電子認証、情報セキュリティ、ネット関連法律等に関する基礎知識を習得する。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の現状と脅威 ・情報漏洩やウィルス被害の事例 ・情報モラルとセキュリティ対策 ・暗号化とデジタル署名 ・著作権や個人情報保護法、不正アクセス禁止法など
日時	随時開催
受講料	4,000円(教材費込み IT時代の危機管理入門 IPA)
講師	日本商工会議所「EC実践研修基礎コース」認定講師
連絡先	(有)ネットシナジー 仙台市青葉区一番町1-8-10 京成壺番町ビル6階 022-707-4979